

神原宏一郎のプロフィール

1978年12月25日 豊中市生まれ(36歳)
 1991年 豊中市立上野小学校卒業
 1994年 豊中市立第十一中学校卒業
 1997年 大阪府立北野高校卒業
 2003年 大阪府立大学工学部卒業
 2005年 ロンドン大学大学院政治学部
 国際関係研究科 修士課程修了
 2007年 豊中市議会議員選挙で初当選(3090票獲得)
 2011年 豊中市議会議員選挙で再選(4676票獲得)
 2007年～ 未来とよなか幹事長 環境福祉常任委員長
 防災対策調査特別委員長 など歴任
 好きな言葉 「初心忘るべからず」、「継続は力なり」
 「先ず隗より始めよ」



インフォメーション

☆講演会(個人演説会)のお知らせ☆ 『神原宏一郎 8年間の軌跡と更なる決意』

日時：3月14日(土)
 14:00~15:30(予定)
 場所：福祉会館
 豊中市中桜塚2丁目28番7号
 【阪急岡町駅徒歩約5分】
 参加費：無料

2期8年間の活動報告をするとともに、
 神原の描く未来像をお話します。
 是非とも、気軽にご参加頂き、
 多くの方のご意見をお聞かせ下さい。



明日への架け橋 (前向きサロン)

日時：1月31日(土)
 午前：10時~12時
 場所：堀田会館2階第一料理教室
 (阪急バス豊中高校前から徒歩5分)
 参加費：無料
 主催：前向きひろば
 お問い合わせは 06-6854-5664 まで

参加者みんなで情報共有・意見
 交換出来ればと思っています。
 気軽にご参加下さい！！



豊中の未来を描こう！！

かんばらこういちろう

神原宏一郎の つながり通信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～

発行 2015年1月

VOL. 99

本年も
 よろしくお願ひ
 致します。

豊中市議会議員
 無所属・未来派



関心・期待感・信頼感を抱く政治へ

◆12月定例会・個人質問と答弁◆

①プラスチック製容器包装の処理方法について

Q. 豊中市では市民にプラスチック製容器包装を分別排出させた上に、わざわざ作業員に手選別をさせている。さらに、お金を払って、日本容器包装リサイクル協会にリサイクルしてもらっているが、全てが再商品化されている訳ではなく非効率では？

A. 本市では、家庭から排出されるごみの減量とリサイクルの推進を図るため、市民のご理解とご協力を得ながら、プラスチック製容器包装の分別収集を行っている。

Q. プラスチック製容器包装のリサイクルは毎年2億円以上の赤字事業であり、焼却し、熱回収し売電した方が、経済的では？

A. 循環型社会の構築という環境行政に対する社会からの要請にこたえていくことが優先されるべきで、可燃ごみを減量していくことが喫緊の課題で、可燃ごみをさらに増やすこととなる施策転換は、これらと相いれない。

(意見) 現行のプラスチック製容器包装の処理方法は、非効率、非経済的であり、焼却処理することで、市民の分別手間の軽減や市の歳出抑制を図るべき。

②学校給食の献立について

Q. 学校給食の献立は日々の栄養価に大きな差が生じていたり、国の摂取基準を満たしていない状況にあるが、市の見解は？

A. 今後、学校給食の充実のため、改善に努めていく。

Q. 児童や教職員向けに味や献立内容に関するアンケートを実施してはどうか？

A. 経年的にアンケート結果をデータ化し、市のホームページ等で公開してはどうか？

A. ホームページ等の利用については、給食に関する様々な情報を提供し、学校給食の質を向上させるため、効果的に活用していく。

(意見) 専門職として配置されている栄養士は、その能力を活かし、その職責を十分果たすべき。学校給食摂取基準を満たしていなかったり、栄養価にバランスを欠く献立が作成されている現状及び、食べ残しがなかなか減らない現状を栄養士が十分把握し、問題意識をもつような仕組みづくりの構築が必要不可欠。

③学校図書館の蔵書管理について

Q. 学校図書館図書標準の定める冊数に満たない学校図書館が多数あり、各学校図書館での図書廃棄数や寄贈数にも大きな差があるが、蔵書管理は適正に行われているのか？

A. 学校備品である図書館資料の管理が一層確実に進むよう努めていく。

(意見) 学校図書館の蔵書管理システムはあるが、システムを活用して、適正な蔵書管理をする人が明確でないことは非常に問題で、早急に明確な管理体制を構築すべき。

冬季期末手当(ボーナス)について 所得税を控除して支給された金額は、 139万5848円。

住民税、国民健康保険料、国民年金、供託金の支払いの一部として使いました。

(注) 住民税(84万6700円)・・・① 国民健康保険料(67万円)・・・②
 国民年金(18万3000円)・・・③ 供託金(28万2575円)・・・④
 ①+②+③+④=198万2275円

収支報告

2014年10月~12月分

神原事務所 2014年10月~12月分

収入		収入	
議員報酬等(注1)	¥1,923,000	前月繰越残高	¥2,488,056
期末手当(注2)	¥1,708,800	神原宏一郎議員報酬より	¥900,000
合計	¥3,631,800	その他(注4)	¥5,000
支出		合計(1)	¥3,393,056
会派会費	¥30,000	支出	
所得税	¥474,631	家屋費(イベント会場含)	¥220,800
議員団費	¥9,525	光熱費	¥15,586
事務所費用へ	¥900,000	通信費	¥19,585
供託金(注3)	¥282,575	印刷費	¥264,810
生活費	¥1,935,069	備品費	¥0
合計	¥3,631,800	消耗品費	¥8,170
		交通費	¥0
		人件費	¥482,000
		その他(注5)	¥27,622
		合計(2)	¥1,038,573
		次月繰越(1)-(2)	¥2,354,483

(注1) クリーンランド議会報酬含む
 (注2) 635,000×2.225×1.2
 (注3) 役職加算分
 (注4) イベント参加費・カンパ
 (注5) 勉強会参加費など

発行元 前向きひろば ~Positive Square~

〒560-0021 豊中市本町3-1-20 エルビル2階
 TEL&FAX:06-6854-5664

平日(祝日は除く)の10時から17時はスタッフがおります。

young_spiritjp@yahoo.co.jp

http://www.geocities.jp/positive_square/

「つながり日記」毎日HPで更新中！！

※ご希望の方には通信を無料でお届けします。お気軽にご連絡ください。



神原宏一郎の個人質問の全容はホームページをご覧ください。

http://www.geocities.jp/positive_square/

皆さまのご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

メールアドレス: young_spiritjp@yahoo.co.jp





神原宏一郎「8年間の通信簿」 8年前に掲げたビジョンと、経過速報

この通信簿は、市民の方々からのご意見をもとに
私自身の2期8年の活動の振り返りをするともに、
市民の方々の評価指標の一つになればと思い作成しました。

行財政改革

- お役所仕事の改善、事務、事業の効率化に努めます
- ネーミングライツの活用を求め、実施されました。
- 図書館の業務委託・自動化の促進を求め、業務委託及び自動化が決定。
- 民間ノウハウを活用する為、民間経験者の積極的採用を求め、毎年採用し増加中。
- 広報機能の充実を図るため、デジタル媒体の活用を求め、公式フェイスブックの導入やHPが携帯対応になりました。
- 市立豊中病院の調理業務の民間委託を求め実現しました。
- 市立豊中病院へのコンビニエンスストアの設置を求め、実現しました。
- 再任用職員の業務見直しが進行中。
- 雇用形態の適正化を図るため、技能労務職の職域の見直しを要望し進行中。
- 市民サービス向上に向けて類似事業の統合や、窓口の一元化の推進を求めています。
- 補助金事業の継続的な見直しを求めています。
- 市有施設、市有地への自動販売機の設置を提案し、設置件数が拡大中。
- 職員の民間派遣制度の導入を求めています。
- 人事給与制度の抜本的改革を求めています。

まちづくり

- 誰にとっても住みやすく、生活しやすい環境整備に努めます
- 放置自転車対策の強化・推進を求め、固定式駐輪機の設置が増加中。
- 歩きたばこ、たばこポイ捨て撲滅を求め、路上喫煙防止条例及び禁止区域が拡大中。
- 自転車専用道路の設置を要望し、検討中。
- 大阪空港の就航空港数・便数の増大、国際便の復活による空港を活かしたまちづくりの推進を要望。
- 空き家対策の強化を求め、条例の制定が検討中。
- 「プレミアム婚姻届」の発行を提案しています。
- ご当地ナンバープレートの作成を求め、実現しました。
- チャリーディング、音楽、高校生ダンスを新しい豊中のブランドとして育て、まちづくりに生かすことを要望。

教育

- 人づくりの基本である教育の環境・質の向上に努めます
- 小、中学校の適正規模と通学区域のあり方について校区再編を含め検討を求めています。
- 学校給食の食べ残しの現状を明らかにし、改善策を提案。
- 保育所や小学校給食のアレルギー対応の推進を求め対応範囲が拡大。また米飯給食の拡大を要望。
- 外国人英語指導助手派遣事業の拡充を要望。
- 悩みを抱えている子どもたち自身が気軽に相談できる第三者機関『公的こどもオンブズパーソン』の設置を要望。
- 熱中症対策、夏季期間中の学習環境改善のため全小学校にエアコン設置が進行中。
- ITの発達とともに、子どもたちが氾濫する情報に惑わされることなく、自ら情報を取捨選択できるメディアリテラシーを養う教育を要望。
- 歳入歳出総額の減少に比べ、教育予算の減少割合が多いことを指摘し、教育予算の増額を要望。
- 公民館、図書館、くらしかん、共同利用施設等で、時間帯や曜日を決めて、空き室を自習室として開放することを提案。

子育て

- 子どもや子育て世代の多様なニーズに応えられる環境づくりに努めます
- 放課後や長期休暇中の子ども達の居場所づくりを求めています。
- 病児病後児保育の充実を求めています。
- 子育て相談、教育相談、児童虐待相談などの人員体制強化を要望。
- 子育てに対する不安や負担の解消策の実施を求め、こんには赤ちゃん事業の実施・地域子育て支援センターの増設などが実施されています。
- ファミリー・サポート・センター事業の援助会員の拡大を求め子育て世代に幅広く活用できる事業になるよう要望。
- 子育てサロン事業や子育てネットワーク作り等、家庭で子育てをしている保護者のニーズに対して、積極的にかつ、きめ細やかな支援を要望。

議会改革

- 市民に関心、信頼、期待を抱かせる議会づくりに努めます
- 議会のインターネット中継を求め、本会議で開始されました。
- 本会議の一般質問で問一答方式が導入されました。
- 政務調査費の領収書提出が義務化されました。
- 政務活動費の使途がHPで公開されることになりました。
- 議員の期末手当における役職加算の廃止を求め続けています。
- 6月定例会での個人質問が実施されました。
- 委員会の同室傍聴及びインターネット中継の導入を提案。
- 一括採決(討論)を避け、一議案ごとに採決を行うことを提案。
- 市長や理事者への反問権の付与を求めています。
- 出前議会、議会報告会の開催を提案。
- 学生議会、こども議会の開催を提案。
- 議会基本条例の制定を求めています。
- 議会報への議員氏名や各議案に対する各議員の賛否の公表を求めています。

環境

- 「環境保全が経済活動や次世代の社会に貢献する」という発想に転換します
- プラスチック製容器包装の分別・収集・運搬にかかる市民の手間、コストの面から、分別方法・処理方法の再考を提案。
- 市有施設の屋上緑化、壁面緑化の促進を要望。
- 空地における不法投棄に対する監視を要望。
- 『(仮称)ごみ抜き取り禁止条例』の制定を提案。
- 幼稚園園庭・小学校校庭の芝生化が進みました。
- 太陽光パネル、雨水貯留タンクの設置補助が拡大中。
- 豊中駅、千里中央駅以外の各駅周辺も路上喫煙禁止区域に指定するとともに喫煙スペースの設置を要望。
- 特定規模電気事業者を含めた電力調達の入札の実施を検討、実施を求めています。
- 省エネ器具への付け替えと消灯の徹底による、省エネ、環境負荷の軽減、コスト削減を提案。
- 化学物質過敏症に対する理解、認識、協力を求める取り組みを提案。
- 環境交流センターを廃止し、3Rセンターに統合することを要望。
- 市民の環境意識向上を図るため、市民・団体の活動を支援し、環境教育も合わせて実施することを要望。

情報公開

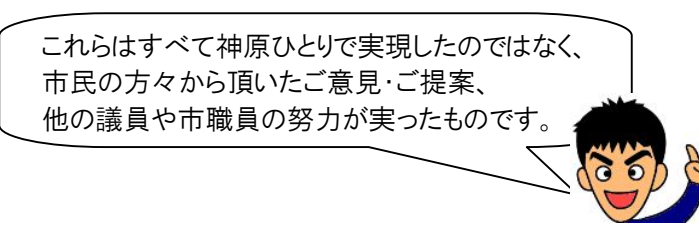
- 市民に身近な政治家を目指します
- 議員報酬や政務調査費の使途公開。
- 定期的な市政報告会の開催。
- 議会報告や視察報告をつながり通信、HP及びフェイスブックで、お伝えしてきました。
- つながり通信の配布数は通算99号(約100万部)
- 他の議員との合同市政報告会の開催。
- 視察報告会の開催。
- 大学生を議員インターンシップとして受入。(これまでに51名が修了)

予防

- 今ある問題の解決だけでなく、将来の問題の未然防止に努めます
- 避難所の情報とともに備蓄物資の詳細と備蓄量及び場所を市のホームページ等で公表することを要望。
- 国民健康保険等へのインセンティブの導入を提案。
- 介護ヘルパー、ケースワーカーの就労環境の改善及び、人員体制の強化を要望。
- 市民健康診断の受診率向上のPR強化を要望。
- 院内及び市内の診療所の情報一元化を提案。
- 市民に対し行政が出来ること出来ないことを明確にし、自助や共助の重要性を啓発。

<その他、このような提案をしてきました>

- 母子健康手帳を医療機関での交付
- 住環境や生活環境の維持、向上にむけて地区計画の策定
- 資産台帳の作成
- 生活保護受給者の生活状況の把握と就労支援
- 財政情報の発信手段として、豊中の借金時計の作成
- 市が所蔵している美術品を鑑定し、価値を明確にし返却や、他者への譲渡や処分の検討
- 利用率の低いバスの運行助成金の見直し
- (仮称)災害対策・被災地復興支援基金の創設
- 市の基金及び市債の目標額及び数値計画の設定



これらはすべて神原ひとりで実現したのではなく、市民の方々から頂いたご意見・ご提案、他の議員や市職員の努力が実ったものです。